

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和5年2月24日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	7	棚等の配置について十分な広さの通路が確保されるよう配慮しております。	トイレは建物の造りの関係上、車いすが入ることは難しくなっております。事業所内に1箇所段差がありますが、今後はスロープを設置するなど検討してまいります。現在、該当の児童はおりませんが支援が必要な児童の受け入れの際には、協議のうえ安全面には十分配慮してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月2回リフレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	児発管、理学療法士が中心となって保護者様のご意向、全職員の意見を踏まえたうえで活動プログラムの立案、実施、振り返りをおこなっております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	全職員でより良い支援ができるよう話し合い、固定化しないような活動を検討し、取り組みをおこなっております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	休日や長期休暇中は、児童の利用時間に合わせ、療育を2部制・3部制にしたり、製作、お祭り等のイベントなど工夫しながら支援しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	当日の療育や一日の流れ、役割分担について分かりやすく図式化された表をもとに、打ち合わせをおこなっております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	支援終了後には、現場にいる職員で振り返り等をおこなっています。送迎等で不在の職員には翌朝の打ち合わせや職員の連絡ノートを活用して情報を共有し、児童の様子や反応、支援の方向性について周知、共有しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で周知したり、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングをおこない、現状の把握して見直しの必要性を判断しております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	ガイドラインに沿って、児童一人ひとりに合わせた基本の活動を取り入れ支援をおこなっております。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	送迎時に行事予定やその日の様子、体調など情報交換をおこなっています。また、送迎時間の変更なども事前に連絡、確認しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	児童発達支援事業所等との間で情報共有をおこない、相互理解ができるよう連携を密にしております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	7	現在までに対象児童の卒業はありませんが、提供を求められた際は保護者様に確認を取り、必要な情報を提供できるように備えております。	今後、学校を卒業する児童が移行することになった場合、支援内容等の提供をしてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	児童発達支援センターとの連携は密におこなわれており、助言や研修を受けております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7	コロナ禍により交流はできておりません。	共生社会の実現に向けた後方支援、お子さまの社会参加や、他のお子さまもきめた集団の中での成長を支援できるよう、学童や児童館など一般的な支援施設等とも連携をしながら、専門的なバックアップをおこなってまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	7	今年度もコロナ禍により参加できておりません。	コロナ予防の観点から参加は自粛させていただいております。来年度はリモートには積極的に参加するとともに、地域移行や障害者虐待防止策等のためのネットワークを強化したいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	日頃から保護者様との情報交換に努め、連携を図っております。随時その情報を職員同士が共有・更新できるように報告し合い、記録するなど把握に努めてまいります。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を行っております。また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	保護者様がご悩み、お困りごとを相談しやすい雰囲気作りにも努め、送迎時にご家庭との連携を取る中で、日頃から様々なお話しに親身に応じるよう心がけております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	今年度もコロナ禍のため、父母の会を開催する機会を持つことが出来ませんでした。	今年度もコロナ禍で実施できておりませんが、保護者同士の繋がりを大切に、安心して子育てができるように支援の必要があることから、今後はオンライン等の充実を図る等、実現に向けて努力してまいります。
	33	子どもや保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情があった場合は迅速かつ丁寧に解決できるよう対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	連絡帳のカレンダーの裏面をとおして、活動概要や避難訓練の様子を写真を交えながらお知らせしております。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報は鍵付き書庫に入れて十分に配慮し保管しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	常に良い関係が築けるように、伝え方、言葉や手段の選択にも最大限の配慮をおこなっております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	今年度もコロナ禍のため計画していませんが、状況が落ち着けば、交流が持てるように計画してまいります。	コロナ禍のため交流は自粛していますが、収束後は地域の方々やボランティア団体との連携、及び協力をおこなうなど交流に努めてまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的に実施しております。連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の様子は次の月の連絡帳カレンダーを通して紹介しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	利用規約に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようしております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回覧し、周知ミーティングをおこないながら再発防止につなげております。	